

# 第37回うつのみやこども賞 受賞記念講演会

受賞作品 『ぼくたちの緑の星』 小手鞠るいさん

うつのみやこども賞とは、小学校5・6年生の選定委員が1年間で40冊の本を読み、その中から最も“友達にすすめたい本”を選んで贈る賞です。

日付：令和3年 11月28日（日）

時間：午後1時30分～午後3時

会場：宇都宮市立中央図書館 集会室

内容：第1部 選定委員による表彰式

第2部 童心社橋口英二郎さんの講演会

『ぼくたちの緑の星』はどうやって生まれたの？

著者の小手鞠さんは、どんな場所でおはなしを作っているの？

そんな疑問に、編集者の橋口さんが答えてくれます。



絵：片山若子

【申込】令和3年11月3日（水）午前9時30分から

電話で中央図書館へお申し込みください。

11月9日（火）までは小中学生のみ受付します

11月10日（水）から残席がある場合のみ、一般の受付を開始します

『ぼくたちの緑の星』  
小手鞠るい作 童心社

ぼくたちは、名前を失いかけていた。大切にしていたものや、大好きなものや、家族や友だちを失いかけていた…。名前ではなく番号で呼ばれる灰色の世界を舞台に、大切なものを守るために何ができるかを問う。

著者プロフィール

1956年岡山県生まれ。同志社大学法学部卒業。主な作品に『ある晴れた夏の朝』（偕成社／第68回小学館児童出版文化賞）『きみの声を聞かせて』（偕成社）『窓』（小学館）『初恋まねき猫』『見上げた空は青かった』（共に講談社）等多数ある。アメリカ、ニューヨーク州在住。

